

ひら・ん・ぽ



12/22
(土)
開催

プレーパーク こうりがおか

「プレーパークこうりがおか」に遊びに行きました。プレーパークは「冒険遊び場」ともいい、従来のブランコや鉄棒がある公園ではなく、街中に残る森を、鳥や動物などの生き物が棲むままの里山として手入れをし、そこに自由な遊び場を作って子どもたちに提供するものです。全国にプレーパークはありますが、枚方市では初めての試みで、山口遼太さんが実行委員長です。自分たちのアイデアとスタイルで楽しむプレーパーク。モットーは「自分の責任で自由に遊ぶ」、「危なくない遊び方を自分で考える」という方針です。今までに森の小路やウッドテラス、すべり台を作ったり、夏には流しそうめん、寒くなってきたら、たき火で焼き芋作りもしました。

今日はスタードーム作り。30人ほど集まり、竹でドーム型に組んでいきました。最初は作業を見守っていた子どもたちも次第に興味を持ち、一緒に組み立てていきました。竹のスタードームは、あいにくの天候で、すぐに解体されてしまいました。大人も子どもも楽しんで活動できるステキな場所でした。

(文・向井 範雄 / 写真・熊澤 力)



11/20
(火)
開催

桜丘中学校区健康リーダー スクエアステップ



通りに、マスを目を順番にテンポよく進んでいきます。ステップの難易度が上がったとたん、足がもつれそうですが、そこは声を出して踏ん張り、最後まで到達してハイタッチ。普段はあまり気にしない歩き方を見直すきっかけになりそうです。「健康寿命」を延ばすためにも、ぜひ試したい健康法だと思いました。

(文・写真/重村 雅世)



「イチニ、イチニ」と元気のよい声が響く「桜丘中学校区健康リーダー」の健康教室。今日のメニューは、介護予防の新しいエクササイズ「スクエアステップ」です。NPO法人スクエアステップ協会から指導員の方が来られ、約20人が汗を流しました。
高齢者の転倒予防、生活習慣病予防などにとっても効果のあるエクササイズとして開発されたもので、まずは入念に準備運動から行います。約20分、しっかり体の隅々までほぐしたら、ようやく本番です。4×10の正方形のマス目が並ぶマットを利用し、



ステップを踏んでいきます。まず、ステップのパターンを見てから、その

子ども食堂だよ! 全員集合!

12/2
(日)
開催

子ども食堂ファンクラブ



枚方に子ども食堂ができて4年、今では20箇所以上。昨年スタートの「子ども食堂ファンクラブ」主催の本イベントでは、お揃いの華やかなピンクのTシャツが目立ちました。
市民会館1階では、農薬や添加物などの恐ろしさを説く「ラハミーム子ども食堂」の講演に続いて、町中で農の楽しさを教える「くずずはシテイファーム」、絵本の花園のような「ひまわり畑子ども食堂」、ママフリマにも参加の「ルポン子ども食堂」など、頼もしいグループの発表。ファンクラブが取材した枚方市内の子ども食堂のレポートも。各所毎回30人から50人の利用があり、誰でもおいでの精神で、子どもと大人の居場所となっています。
「まず始めてみる」「ヒトの子は自分の子」「何かあっても子どもの成長でなんとかなる」これらは、枚方で子ども食堂第1号の「ちいさいほいくえんみんなの里」の梅原さんの言葉。食べることでつながる力強さを改めて感じました。(文・高橋 佳子)



12/8
(土)
開催

中学生 ティスカッション

あの日を語ろう、未来を語ろう
中学生が始めた被災後のまちづくり

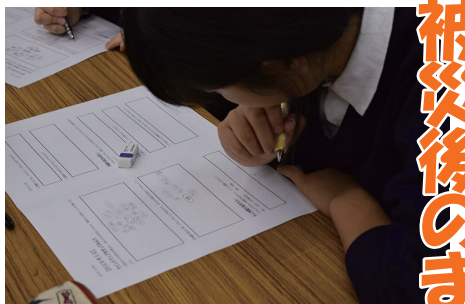
昨年度好評だった「防災ティスカッション」を「中学生ティスカッション」と名称を変え、開催された本イベント。

まずは、木村圭さんの講演。漁業や観光で活気のある宮城県女川町で、東日本大震災当時、木村さんは小学校6年生、今は京都在住の大学1年生。芯の強さを感じる静かなレディ。彼女は自分の体験はほとんど語らない。女川町人口約1万人の8・75%の人が亡くなった。彼女の周囲にも亡くなった人がいただろう。彼女は無事だった。だからここにいます。その事実を改めて感じる。

震災の翌月、中学生になった彼女たちは、社会科の授業で考え始める、ふるさとのために何ができるか。3つの対策案にまとめた。①絆を強める：小中学生が学校で、地域で作る絆、②高台に避難できる町：リアルな訓練、そしてソーラーパネル式の避難誘導灯、③経験を記録に残す：津波で倒れ



平成30年度 中学生ティスカッション
講演会 「あの日を語ろう、未来を語ろう」
中学生が始めた被災後のまちづくり
講師 木村圭 氏



たコンクリートの建物の保存、津波の最高到達点を示す「いのちの石碑」づくり(21地区中18基完成)、そして小学生から災害を教える副読本「いのちの教科書」づくり。

今も「1000年後の命を守るために」と題して、この運動は続いている。なぜ千年か、それは千年に一度の災害だったから。「どの町にも、その町に合った、その人に合った方法、活動があるはずですよ」という木村さんの言葉に、防災は、想像力ではないか、そう感じた。(文・高橋 佳子)



次回は
2019年2月2日(土)
@枚方市市民会館

前回参加した中学生はもちろん、まだ、参加したことのない中学生の皆さん、ぜひ参加してください。皆さんの周りの中学生にも、ぜひお声がけをお願いします！

申込・問合せ
ひらかた市民活動支援センター
TEL:072-805-3537
Eメール:info@hirakatanpo-c.net
http://hirakatanpo-c.net



講演後、枚方市内から集まった50人の中学生が、9グループに分かれ、災害が起こった時に、中学生の自分たちに何ができるかを話し合いました。

発表のスタイルはそれぞれ。「初めて会った中学生同士で、ここまでできるなんて大阪の中学生スゴイ！」と講師の木村さんもビックリ！



12/15
(土) 開 催

こども将棋クラブ

16歳の藤井聡太七段の大活躍により訪れた昨今の将棋ブーム。この日も多くの小学生が集まりました。

「こども将棋クラブ」は、日本将棋連盟公認指導員の原背健治さん、中田善久さんが中心となって枚方市内で子どもたちに将棋を教えています。



今回は、サプリ村野学校として、初級コースでは、駒の動かし方から将棋のイロハを丁寧に教わっていました。中級コースでは、小学1年生から5年生まで17人が参加。初めは「歩」の駒のさまざまな動かし方などを説明しながら個々の実力をチェック。「将棋が強くなるには『歩』をうまく使うこと、いろんな手を覚える」と、大人が聞いても難しいゲーム展開の解説をしっかりと聞いて、さまざまな問題にも、ほぼ全員が手をあげて答えていました。

その後は、プリントを使った「詰将棋」でいろいろな手を学び、実力に応じて子ども同士での対局、先生との対局など、相手を変えながら、約2時間、みっちり将棋を指していました。途中、トイレや水分補給も忘れそうなほど、夢中で取り組んでいた中、中にはプロ志向の子もいて、今後が楽しみな会となりました。

こども将棋クラブでは、第2・第4土曜日に、サプリ村野で、将棋教室を行います。参加費は30分50円、入会金は不要。将棋が強くならない子どもたちは、ぜひご参加を。詳しくは、原背さん(電話090・8981・5270)まで、ご連絡ください。



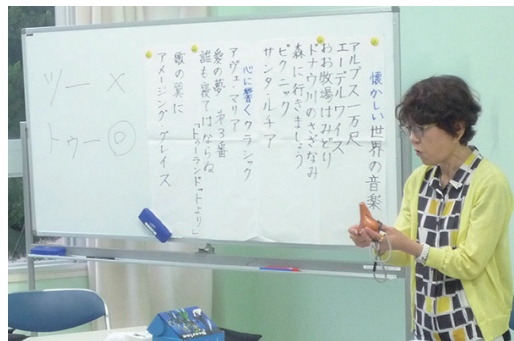
王将
歩兵
角行
(文・写真/重村 雅世)

サプリ村野学校

サプリ村野学校



11/17(土) スパイラルロールのプレスレット
《ハンドメイドアクセサリー教室リバリバ工房》



9/10(月), 21(金), 29(土)
初心者向けオカリナ教室
《パフォーマンスサークル「街」》



12/4(火) ベビー&ママヨガ
《ママのチカラ協会》



10/13(土) 超かんたん面白マジック
《パフォーマンスサークル「街」》

サプリ村野学校は、毎月の広報ひらかたや、ひらかた市民活動支援センターのHPに講座の案内がありますので、是非チェックして、ご参加ください。なお、メンバーや会員を増やしたい実施団体も、募集中です。サプリ村野を利用したことのない団体もご相談ください。

★サプリ村野学校 お問い合わせ

TEL : 072-805-3537 / Eメール : info@hirakatanpo-c.net
http://hirakatanpo-c.net/manabis/sapurimuranogakkou



2018年は、多くの災害が
起こる中、各校区の自主防災訓
練や小学校の土曜参観などから、
防災小学校の依頼を9件いた
だきました。

防災小学校では、皆さんの体験をお聞きしな
がら、市民目線で、世代ごとに、防災に関する
大切な情報をお伝えしています。まだ2月以降
にも実施を予定していますが、どの校区や学校
に行っても、実際の地震や台風の経験をしたこ
とで、より真剣な姿勢で、また熱心に体験に取
り組んでいる様子が印象的でした。



「気仙沼・熊本の皆さん お見舞いありがとうございます！」

6月の地震後に、気仙沼からお見舞
いの物産を送っていただき、熊本からも
お気遣いのメール等をいただきました。
とてもうれしかったです。気仙沼や
熊本もまだまだ復興途中です。気仙沼
や熊本の物産を下のイベントで
販売しますので、ぜひ購入。
しに来てくださいね。



1/13「天の川とんどまつり」
@天津橋河川敷
2/2「ひらかた防災学校」
@枚方市市民会館

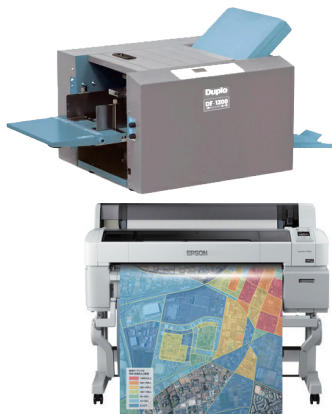


特に、枚方市内で被害に
遭った建物や山林、塀や看
板などの写真展示をした際
には、住民の皆さんから、
災害時の様子を多く聞くこ
とができました。この貴重
な体験談は、今後の教訓の
ためにも、ぜひ語り継いで
いきたいと思っています。
2月2日の「ひらかた防
災学校」でも展示予定です
が、皆さまから、
災害時の「写真
や「体験談」を
募集しています。
詳しくは、ひら
かた市民活動支
援センターのH
Pでご確認いた
だくか、電話等
でお問い合わせ
ください。



ひらかた市民活動支援センター リニューアルのお知らせ

ひらかた市民活動支援センターのお部屋として、会員を
中心にご利用いただいていたサプリ村野の301号室が、
2019年の3月末で使用が終了することになりました。
それに伴い、紙折り機や大型プリンターなどを移動し、
1階の市民活動ネットワークルームをリニューアルします。
301号室をご利用いただいていた皆さまには、ご不便をか
けることとなりますが、何卒ご理解、ご了承いただきます
よう、よろしくお願ひします。



ひらかたNPO フェスタ2019

ひらかた市民活動支援センターに登録している団体が、
発表・展示・バザー・体験などの出展で、普段の活動を
紹介し、学校や行政、企業や商店、地域の皆さんと交流
するイベントです。

2019年9月8日(日)
岡東中央公園・枚方市市民会館ほか

出展団体の募集は2月から行います。ひらかた市民活
動支援センターに登録している団体には案内しますの
で、メール・FAX等を気をつけてご確認ください。
詳しくは、ひらかた市民活動支援センターまでお問い合
わせください。



2018年度 ひらかた防災学校

学んで守ろう わが身わがまち

2019年 2月2日 土

10:00~15:00 <雨天決行・荒天中止>

枚方市市民会館

小ホール・大ホールロビー・大ホール前

事前募集

★下記の募集をしています！

- ①「子育てママのための防災セミナー」10:15~
- ②「高齢者・災害弱者のための防災セミナー」11:15~
- ③「災害後の心のケア～PTSDの対応について～」13:00~
- ④「みんなの災害体験～残して次世代に伝えよう～」

※①は、未就学児までの親子10組。★②・③は、各25人(先着順)。

④は、2018年に発生した「大阪北部地震」「7月豪雨」「台風21号」などの災害で被災した建物や家屋、山林などの写真と、災害時の体験談を募集。写真は、データでもプリントしたものでOK。体験談は、800字程度まで。



みんなの避難訓練

スタンプラリーで体験しながら非常食ゲット!



みんなの災害体験

みんなで語ろう!あの日のこと



みんなの防災セミナー

災害前・災害後いろいろ知ってそなえよう!



申込・問合せ：ひらかた市民活動支援センター **ひらかた防災学校**

TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532

Email: info@hirakatanpo-c.net

共催：枚方市・特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター



編集後記

2018年は、度重なる災害で落ち着かない一年でしたが、いろいろ見直せる機会でもありました。いよいよ平成も終わり新たな時代を迎えますが、どんな変化をしていくか、楽しみでもあり不安な気持ちもあります。

政治やスポーツ、地域社会、さまざまな環境の変化の中で、NPOの役割をしっかりと考える一年にしたいです。(編集者・S)

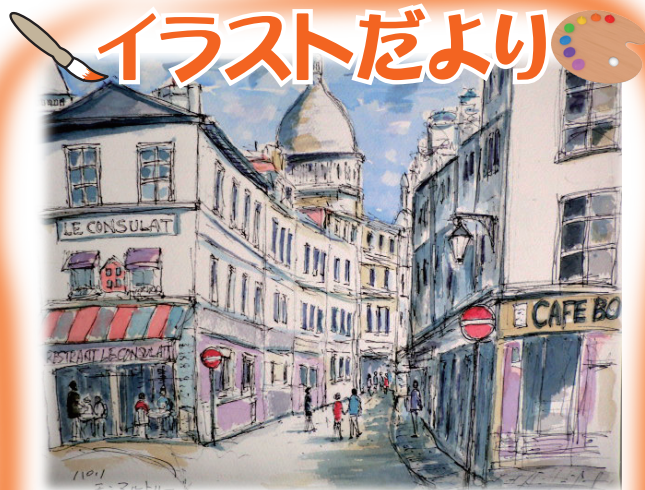


【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532
Eメール: info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター @hiracen

ひらせん(ひらかた市民活動支援センター) @hiracen_info



パリは魅力的な街が多いですが、庶民的なモンマルトルが好きです。前回のホテルはムーラン・ルージュのすぐ近くだったので、少々がらは悪いですが、この界隈の雰囲気をつらつら味わうことができました。若き日のゴッホが住んだアパートやピカソのアトリエ、ルノワールが描いたムーランド・ギャレットなどを散策し、二つ星の小さなホテルの部屋に戻って、安いワインを飲みながらチーズとパンの質素な食事をとると、無名時代の画家になったような感じがします。もっとも私はずっと無名のままですが。(笑)

(イラスト・文/向井 範雄)